

羽生市 自治会連合会だより

第17号

第17号 令和4年2月15日発行
 発行責任者 羽生市自治会連合会
 会長 長谷川 光男
 総世帯数 23,635 世帯
 自治会加入世帯数 16,794 世帯
 加入率 71.1%
 (令和3年4月1日現在)

令和3年7月29日(木)
 井泉地区避難所開設訓練
 実施の様子
 (3ページに関連記事)



コロナに打ち勝て



羽生市自治会連合会

会長 長谷川 光男

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと存じます。

昨年は、年初めから新型コロナウイルス感染が拡大し、ほぼすべての自治会活動や祭り等が中止となるなど大変な一年となりました。羽生市においても、多数の陽性者の発生が報道されました。

今後自治会活動も徐々に再開されていくことが期待されますが、皆さまには引き続き十分な感染予防対策をお願いいたします。

今年どのような状況になるか、いまだ予測ができませんが、出来る限り例年通りの年間行事が各地区で行われ、コロナ前以上の活気、元気を地域に取り戻すような、コロナに負けない活動をしていきたいものです。

本年も、皆さまと力を合わせて自治会活動を進め、明るく楽しい地域づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、会員皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



羽生市イメージキャラクター「ムシノモン」

「皆さまの貴重な声をお聴きして」



羽生市長
河田晃明

明けましておめでとうございます。羽生市自治会連合会の皆さまには、日ごろから市政各般にわたり、多大なるご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、一昨年来、新型コロナウイルスとの戦いという大変困難な状況に置かれてきましたが、昨年は自治会連合会の皆さまのご協力を得て、各地区において「市民座談会」を開催し、市民の皆さまの生の貴重な声をお聴きすることができました。やはり市政は、皆さまの声を聴きることから始まると思います。

今年も、皆さまの声を丁寧にお聴きし、「今すぐにやるべきこと」「や」「コロナ後を見据えて取り組むべきこと」について一緒に考え、実行してまいりたいと存じますので、引き続き、自治会連合会の皆さまの格別のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、羽生市自治会連合会のみならず、皆さまの健康とご活躍を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

「再び地域のつながりを取り戻すために」



羽生市議会議長
島村 勉

明けましておめでとうございます。羽生市自治会連合会の皆さまには、日ごろから、羽生市の発展のために、特段のご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

一昨年からはほぼ2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの行事が自粛や中止を余儀なくされ、地域のつながりも薄れがちな状況となつてしまいました。今後は、再び地域住民のふれあいなど、地域のつながりを取り戻していく必要があります。そのためには、自治会連合会の役割は非常に大きく、皆さまのお力添えが必要となつてまいります。

市議会といたしましては、自治会連合会の皆さまと連携協力を図りながら、地域コミュニティを大切に、活性化につながるように尽力してまいります。

結びに、羽生市自治会連合会の限りなくご発展と会員皆さまのご健康を祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

各地区の自主防災の取り組み

「公助」による避難訓練の実施を
堤自治会長 児玉 敦

昨年10月14日(木)、村君地区住民と市長をはじめとする関係職員による「市民座談会」が開催されました。私たち地域は、利根川を背にしていることから重視した議題は、水害訓練についてでした。近年の洪水は、多くの被災者を出しているにもかかわらず、羽生市での自治会による訓練は、地震災害を想定した「自助・共助」による訓練にとどまっています。

一方、水害は予測が可能なので、適切な準備と訓練を行えば、被害を最小限度に食い止めることができます。しかしながら、利根川の氾濫を想定した避難訓練を自治会で実行するには無理があり、自治体の「公助」と三位一体となった訓練が必要だと考えます。

座談会での担当者からの回答は、水害時の避難場所は、地区それぞれで決める必要があるため、避難方法も含めて各自治会と協議していきたいとの回答でした。一昨年の台風の際、加須市では利根川沿いの住民約9600人が緊急避難しました。羽生市でもこうした事例を教訓とした「避難訓練」を自治会と合同で実施していただきたいと考えています。



社会福祉法人 とねの会

とねの会こども園

〒348-0056 埼玉県羽生市大字上川俣87
tel:(048)561-6200 fax:(048)561-6605
✉ tone@tonenokai.com ☑ http://www.tonenokai.com



とねの会こども園

職員募集中



とねの会 🔍 検索



四季の中で
五感を育む

日ごろからの災害への備え
大和町自主防災組織 久保秋 茂

大和町自主防災組織主催の「防災訓練」が昨年10月17日(日)、30日(土)の2日間にわたり、大天白公園で実施されました。当日は、班長、理事など約100名が参加し、消防署員、地元消防団員の協力をいただき、消火訓練、担架づくりの体験、自動体外式除細動器(AED)の実演、防災ビデオ視聴などが行われました。

当地区は、北小学校、西中学校、羽生実業高校が避難所、避難場所に指定され、また大天白公園、大和町公園、大道公園も避難場所に指定されています。大規模な震災や水害が発生する恐れがある場合、地域全体で、また住民一人ひとりがいかに主体的に行動するかをまとめた「災害時初動マニュアル」の作成が急務であると考えています。また、災害時要援護者への対応も大きな議題となっています。災害の発生は防ぐことはできませんが、日ごろからの災害への備えを行い、被害を最小限に抑えるための活動を今後とも進めたい。



消火訓練の様子

自主防災訓練実施
喜石工門新田自治会長 林 明

令和3年度の防災訓練を昨年11月27日(土)に実施しました。

訓練当日は、午前8時に班ごとに全戸招集し、避難者受付簿で全戸の安否確認を行い、班長さんのみが避難場所に設定した研修所に集合し、地区全体の安否情報の収集に当たりました。(コロナ禍のため規模を縮小し、全員参加は中止)

また、各戸の避難が無事に終えた証として門戸に黄色旗を立てる訓練も行いました。防災訓練の重要性は、全員参加で繰り返し訓練を行う事であり、これからも防災意識を高めて行きたいと思っております。



訓練総括の様子と避難完了の黄色旗

井泉地区避難所開設訓練
藤井下組自治会長 染谷 幸雄

梅雨明けの暑い昨年7月29日(木)井泉公民館講堂において避難所開設訓練を行いました。

当日は、新型コロナ感染防止の観点から自治会長、民生委員中心に20名の参加にて実施いたしました。市の職員の指導の下、小学校および公民館における避難所の配置例や感染防止対策の説明を受け、3班に分かれて段ボールベッド、ついたて、簡易トイレ等の資機材の組み立てを行いました。また備蓄品の展示説明があり、便利な物だと感心しました。

私たちの地域は、災害の少ない所ではありませんが、近年は地震や台風が多発している中、地域のつながりが重要かと思えます。

最後に、保管場所の防災備品の確認を行い、いくつかの課題を残し、避難所開設の必要がないことを願い訓練を終了しました。(表紙写真参照)



避難所配置図確認の様子

新品・中古パソコン販売・買取・修理

訪問サポートいたします！
パソコン設置・プリンタ設定など
何でもご相談下さい！

ホームページ

パソコンショップのユーザーズ

〒348-0058 羽生市中央4-10-32
TEL: 561-1197
10:00 ~ 19:00 日曜日定休 <https://www.utech-hanyu.com/>

清酒 撰 晴菊 HAREGIKU

厳選された米、清冽な水、磨き抜かれた人の技。妥協を許さず、ひたすらに、旨さを追求した成果がここにあります。

お酒は20才になってから。

株式会社 東亞酒造

羽生市西4丁目1-11 <https://www.toashuzu.com>

自治会連合会の 委員会活動について

自治会連合会では、次の二つの委員会活動により、自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に向けて取り組んでいます。

総務委員会 小久保 光雄

当委員会は自治会活動の活性化および円滑化を図り、自治会が抱える諸問題の検討や自治会加入率向上に関することを趣旨として、テーマを決めて協議しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自治会長の視察研修会やスキルアップ研修会についても今年度は中止となりました。

そんな中で、令和3年度は、自治会長向け自治会活動ハンドブックの改訂、自治会加入促進チラシの改訂について協議を進めてきました。

自治会活動ハンドブックの改訂については、自治会長が利用しやすいように、文言の修正や資料の追加などの意見を頂き、見直しを行いました。

自治会加入促進チラシの改訂については、自治会の役割や内容について意見を頂き、見直しを行いました。昨今、自治会への加入率は減少傾向

ではありますが、よりよい地域づくりのために今後も諸問題に取り組んでまいりますので、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

自主防災推進委員会 須永 勝愛

当委員会では、地域防災の意識向上、防災に関する知識の普及等を目的とし、自主防災組織による防災訓練および防災知識研修を行い自助努力・共助により地域間の協力の下、災害被害を最小限に抑止できることを願っております。

令和3年度は、昨年度に引き続き、コロナ禍により、各自主防災組織を中心に防災訓練も人数を絞っての実施や訓練内容の工夫が必要な状況でした。

そのような状況の中、当委員会では今年度は次の取り組みを実施いたしました。

一、避難所運営マニュアルの修正

令和元年東日本台風の教訓を生かし、新型コロナウイルス等感染症対策に配慮した避難所運営を行うため、避難所運営マニュアルの修正の検討を市と連携し、実施いたしました。

二、自主防災推進委員による図上訓練の実施

避難所で想定される課題等を考え、問題意識を共有するため、訓練

を実施しました。図上訓練は、避難所に見立てた平面図に、それぞれが抱える事情が書かれたカードを配置し、避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくか模擬体験する訓練です。

三、避難所開設訓練への協力

井泉、川俣の2地区で実施された避難所開設訓練に各地区の自主防災推進委員が参加し、感染症対策に配慮した資機材の組み立て体験や避難所の区割りの確認等を行いました。

当委員会では、今後不測の災害に備え住民が積極的に防災訓練に参加できますよう企画・提案に取り組んでまいります。

特殊詐欺に要注意!

羽生警察署

令和3年中、羽生市内では「オレオレ詐欺」や「還付金詐欺」などの特殊詐欺被害が前年に比べて大幅に増加しており、市内のご家庭に犯人グループから詐欺の電話が頻繁にかかってきています。

最近の被害状況を見ますと、市役所や金融機関職員、警察官等をかたつて電話をかけた後、キャッシュカードを直接被害者の自宅に受け取りに来る手口が増加しています。

市役所職員等が、キャッシュカードを受け取りに行くことは絶対にあ

りません。他人にキャッシュカードを渡さないように注意してください。

また、「自分は騙されるはずがない」「うちの親は大丈夫」といった先入観を持つことなく、普段から家族や身近な人と相談できる環境づくりを心がけ、「家族で合言葉を決める」「在宅時でも留守番電話に設定する」「防犯機能付き電話を使用する」などの被害に遭わないための対策をとしましょう。



編集後記

第17号の発行にあたりご協力を頂いた皆さまに厚く御礼申し上げます。この会報を通じ、市民の皆様が地域の自治会活動を理解し、関心を持っていただければと思います。

今年もよろしく申し上げます。

自治連だより編集委員会